

遭難事故が多発しています!!

もう一度点検 計画と対応力

冬の自然は厳しく、急変します。冬山経験豊富な信頼できるリーダーと、事故に対応できる力を持ったパーティーであることが必要です。

- 1 エスケープルート（万一の時の逃げ道）は考えていますか。
- 2 気象通報による天気図がとれますか。（ラジオなど）
- 3 応急処置のための知識と医薬品・器具は整えましたか。
- 4 雪崩に対する知識・心構えと装備は整えましたか。（雪崩ビーコンなど）
- 5 緊急時の連絡手段は用意しましたか。（携帯電話・無線など）
- 6 山岳保険の加入は済みしましたか。
- 7 登山計画書はパーティー全員でよく検討し、理解していますか。
- 8 事故多発！登山予定の山で発生した過去の事故を確認しましたか。
- 9 条例等で入山が規制されている地域ではないか確認しましたか。

登山計画書はあなたの生命を守るザイルです。

平成27年の冬山では遭難した231パーティーのうち172パーティー（約74%）が、登山計画書の提出なし。

●登山計画書の提出先

- 家庭、クラブ（山岳会）、職場、学校など。
- 山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど。
- 登山地域の都道府県警察本部地域課または山域を管轄する警察署、交番、駐在所。（※インターネットを使って申請ができる警察本部等もあります）
- インターネットの登山計画サイト（山と自然ネットワーク「コンパス」など）

登山計画書の提出

- 安全登山のための自己点検の機会となります。
- 遭難事故の発生を早い段階で警察が認知でき、捜索救助活動が迅速かつ合理的に行われます。
- 捜索救助活動にかかる膨大な社会的及び個人の負担を軽減させることができます。
- 家族や関係者を安心させることができます。

これまでも登山計画書を提出したことにより、命拾いしたという事例が数多くあります。登山計画書を提出するということは、あなたの生命を守るザイルであると考えて必ず実行しましょう。また、登山計画書の提出先には、下山の報告を忘れずにしてください。

遭難事故防止の第一歩は登山計画書の作成と提出です。

冬山登山の警告

「冬山は十分な体力、装備、計画を！」

平成27年12月1日

山岳遭難対策中央協議会

冬山シーズンにおける転滑落や雪崩等による事故が後を絶ちません。また豪雪や急激な気象の変化に対応できず、行動不能になる事例も見受けられます。冬山は、**急激な気象の変化、大雪、雪崩**など厳しい自然条件下にあり、たとえ優れた経験や技術、知識を有していても、天候の急変等により遭難事故に結びつく場合が多々あります。近年は、これまで雪の多くなかった山域でも豪雪となる場合があり、より正確な判断力や十分な装備が必要になっています。

登山は、計画段階から無事に帰宅するまで、自己責任において行わなければなりません。日頃から（公社）日本山岳協会及び各都道府県山岳連盟等の開催する冬山登山の研修会、講習会等に参加し、冬山に必要な知識や技能を身に付けるとともに、**冬山経験が豊かで適切な判断力のあるリーダーのもとで**、左記に示した注意事項等をよく参照し、万全の準備を整えて登ることが肝要です。**十分なトレーニング**に裏付けられた自信と**きめ細かい計画**が、心に余裕のある確実な行動を可能にします。「山に行ってから考えよう」は絶対に禁物です。なお、遭難事故による家族や学校・職場、さらには広く社会に及ぼす影響を考え、**知識や経験、技術の伴わない登山者はこの時期の安易な登山は厳に慎んでください。**

また火山の噴火等、各山域特有の情報を収集して登山計画を立てるようになしてください。

山岳遭難対策中央協議会構成省庁・団体

*太字は「幹事会」構成省庁・団体

内閣官房 **警察庁** **環境省** **気象庁** **消防庁** **林野庁** **総務省** **防衛省** **スポーツ庁**

（独）日本スポーツ振興センター （株）NTT （株）JR東日本 （公財）日本体育協会

（公社）日本山岳協会

リサイクル適性A

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

◎平成27年の冬山における遭難発生状況

(平成26年12月1日～平成27年2月28日)

区分 年別	発生 件数	遭 難 者 数 (人)					合計
		死者	行方 不明	重傷	軽傷	無事 救助	
平成27年	231	39	4	49	51	155	298
平成26年	211	33	5	41	50	156	285
増 減	+20	+6	-1	+8	+1	-1	+13

平成25年以降、3年連続して発生件数が200件以上に！
“自分に限って”という油断は禁物、安全登山はあなたの心
構えから！！

◎過去5年間の冬山における遭難の態様別発生状況 (件数)

転・滑落	道迷い	転倒	疲労・ 病気	天候 急変	雪崩	その他	合計
269 (26.6%)	371 (36.6%)	126 (12.4%)	93 (9.2%)	39 (3.8%)	22 (2.2%)	93 (9.2%)	1013

※ () 内は構成比

◎バックカントリースキーによる遭難が多発！

近年、スキー場管理地以外の雪山において警告表示等に従わずスキーやスノーボードを行い、コースを外れて遭難するケースが多発しています。このようないわゆるバックカントリースキーは、冬山登山と同様の知識・技能・装備が必要です。安易な行動は厳に慎んで下さい。

冬山に関する研修会、講習会等の問合せ先

(独) 日本スポーツ振興センター国立登山研修所 TEL (076) 482-1211(代)
URL <http://www.jpnsport.go.jp/tozanken/> FAX (076) 481-1534

(公社) 日本山岳協会 TEL (03) 3481-2396
URL <http://www.jma-sangaku.or.jp/> FAX (03) 3481-2395

冬山装備チェックリスト

登山目的にあった装備を持参しよう。

(○は必ず持参のもの。△は状況によって持参のもの。)

品 名	品 名	品 名
○ズボン	○非常食	○ツェルト
○シャツ	○救急用品 (各種薬等)	○スノーソー
○防寒衣 (セーター・羽毛服)	○テーピングテープ	○コンロ
○アンダーウェア上下	○レスキューシート	○燃料・予備燃料
○防風防水透湿パーカ	○テルモス・水筒	○コップ・炊事用具
○防風防水透湿オーバーパンツ	○食器類	○ラジオ
○帽子・防寒帽 (目出帽)	○ナイフ	○天気図用紙
○靴下 (ソックス)・予備靴下	○ホイッスル	○トランシーバー (予備電池)
○手袋 (グローブ)・予備手袋	○ヘッドランプ	○標識布・竹
○オーバーミトン	○予備電池・電球	○修理用具一式
○登山靴	○ローソク	○ザイル (ロープ)
○ロングスパッツ	○ライター・マッチ	○カラビナ
○わかんじき	○時計	○スリング各種
○アイゼン	○高度計	△伸縮式ストック
○ピッケル	○コンパス	△ハーネス
○スノーシャベル	○1/25000地形図	△サブザック
○雪崩ビーコン	○ルート図	△テント一式
○携帯ゾンデ棒 (プローブ)	○登山計画書	△大型スノーシャベル
○ルックザック	○筆記具	△ランタン
○ゴーグル	○身分証明書	△カメラ
○シュラフ (スリーピングバック)	○緊急連絡票	△サングラス
○シュラフカバー	○携帯電話 (予備電池)	△油性太字ペン
○マット	○健康保険証	△各種登攀用具
	○ロールペーパー	△GPS
	○タオル・手拭	△携帯トイレ
	○ポリ袋	△ヘルメット
	○装備整理袋	

※この装備リストは冬山の標準的な装備です。対象とする山の難易度、登山方法により必要な装備は変わりますので、事前にパーティーで装備の要否や追加装備の有無をよく検討してください。

“装備に追加 携帯トイレ みんなで取り組む環境保全”

最新の気象状況把握が冬山登山の命綱

～大雪、なだれ、急激な気象変化などに細心の注意を～

冬山の天気は、平地とは比較にならないくらい急激な変化をし、悪天が数日継続することも少なくありません。特に低気圧が通過し、その後、強い冬型の気圧配置になる場合、強風や吹雪、短時間での大雪、なだれ、急激な気温低下が起こります。登山の数日前から、最新の気象情報で天気や雪の状況などを確認し、ゆとりある計画を立てることが必要です。さらに、登山中も常に最新の気象情報を利用し、気象の急変等に備えた適切な判断が何より重要と強く認識してください。

気象情報の入手先

常に最新の気象情報を利用することが大切です。ラジオやテレビの他、インターネットや携帯端末を利用した情報の入手も可能です。

(公社)日本山岳協会のホームページに、以下の入手先等をまとめていますので、御利用ください。

(<http://www.jma-sangaku.or.jp/tozan/plan/weatherforecast/>)



(公社)日本山岳協会のホームページ(気象情報のページ)

□気象庁ホームページ(PCサイト)

気象庁ホームページでは、警報・注意報、天気予報の他、地上・高層天気図、気象衛星、アメダス、気象レーダー、ウィンドプロファイラ(上空の風)等の様々な気象情報を確認することができます。

(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

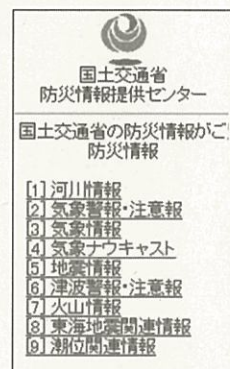
□国土交通省防災情報提供センターホームページ(PC・携帯)

国土交通省防災情報提供センターホームページでは、河川、道路、気象等の各種情報を見ることができます。

(<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>)

また、携帯端末向けホームページでは各種防災情報を見ることができます。

(<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>)



防災情報提供センター
携帯端末向けホームページ(Top)



□民間気象会社等のサービス

民間気象会社等では、特定の山を対象に気象情報提供サービスを行っているところがあります。

(詳細は、各民間気象会社等にお尋ねください)

※火山情報にも注意

火山には、噴気や火山ガスが発生している危険な場所があります。登山する山が火山の場合は、火山にどのような危険があるのかを確認して、登山計画を立てましょう。

気象庁や地元自治体が発表している最新の情報を入手し、十分注意して登山してください。気象庁では、「噴火警報」や「火山の状況に関する解説情報」などを火山ごとに整理した「火山登山者向けの情報提供ページ」(下記 URL)を公開していますので、登山前には、必ずご確認願います。

(http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html)

また、噴火の発生事実を迅速に発表する「噴火速報」はラジオやテレビ、携帯端末のアプリ等で知ることが出来ます。火山の噴火に気づいた時、噴火速報が発表された時は直ちに身の安全を図りましょう。

(噴火速報の説明: http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/funkasokuho/funkasokuho_toha.html)



主な山岳地の登山についての問い合わせ

山 岳	気 象 情 報	山 岳 情 報 ☆印のあるホームページから登山計画書の提出ができます。 ◎印のあるホームページから登山計画書様式をダウンロードすることができます。
主な山域の 冬山情報	各地域の情報は地方気象台にお問い合わせ下さい。 http://www.jma.go.jp/jma/index.html	警察庁生活安全局地域課 ◎ http://www.npa.go.jp/
北海道全山域		北海道警察本部地域企画課 (011)251-0110 内 3525 ☆ http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/chiiki/sangaku/sangaku-top.html
利尻岳 大雪山系 十勝岳	稚内地方気象台 (0162)23-2678 旭川地方気象台 (0166)32-6368	北海道警察 旭川方面本部地域課 (0166)35-0110 内 3523 ☆ http://www.asahikawahonbu.police.pref.hokkaido.lg.jp/kakuka/chiiki/anzentozan/anzentozan.html
八甲田山系	青森地方気象台 (017)741-7411	青森県警察本部地域課 (017)723-4211 内 3563
八幡平	盛岡地方気象台 (019)622-7868 秋田地方気象台 (018)823-8291	岩手県警察本部地域課 (019)653-0110 内 3584 秋田県警察本部地域課 (018)863-1111 内 3593
鳥海山系	山形地方気象台 (023)622-2262 秋田地方気象台 (018)823-8291	山形県警察本部地域課 (023)626-0110 内 3573 秋田県警察本部地域課 (018)863-1111 内 3593
蔵王山系	仙台管区気象台 (022)297-8104 山形地方気象台 (023)622-2262	宮城県警察本部地域課 (022)221-7171 内 3593 ☆ http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/tiikisitu/tiiki/chiikika1.html 山形県警察本部地域課 (023)626-0110 内 3573
飯豊連峰	山形地方気象台 (023)622-2262 新潟地方気象台 (025)281-5871 福島地方気象台 (024)534-2162	山形県警察本部地域課 (023)626-0110 内 3573 山形県小国警察署 (0238)62-0110 新潟県警察本部地域課 (025)285-0110 内 3576 ☆ http://www.police.pref.niigata.jp/ 福島県警察本部総合運用指令課 (024)522-2151 内 3633 ☆ http://www.police.pref.fukushima.jp/
巻機山連峰	新潟地方気象台 (025)281-5871 前橋地方気象台 (027)231-2237	新潟県警察本部地域課 (025)285-0110 内 3576 ☆ http://www.police.pref.niigata.jp/
苗場山	長野地方気象台 (026)232-2034	
谷川岳	新潟地方気象台 (025)281-5871 前橋地方気象台 (027)231-2237	群馬県警察本部地域課 (027)243-0110 内 3564 ☆ http://www.police.pref.gunma.jp/
草津白根山	長野地方気象台 (026)232-2034	
丹沢山系	横浜地方気象台 (045)621-1991	神奈川県警察本部地域総務課 (045)211-1212 内 3532 ☆ http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm
南アルプス 富士山	甲府地方気象台 (055)222-2347 静岡地方気象台 (054)286-3411 長野地方気象台 (026)232-2034	山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 内 3565 ☆ http://www.pref.yamanashi.jp/police/ 静岡県警察本部地域課 (054)271-0110 内 3576 ☆ http://www.pref.shizuoka.jp/police/kurashi/sangaku/
北アルプス 中央アルプス 南アルプス 八ヶ岳	長野地方気象台 (026)232-2034 岐阜地方気象台 (058)271-4107	長野県警察本部山岳安全対策課 (026)235-3611(直通) ☆ http://www.pref.nagano.lg.jp/police/ 山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 内 3565 ☆ http://www.pref.yamanashi.jp/police/
北アルプス	富山地方気象台 (076)432-2311 岐阜地方気象台 (058)271-4107	富山県警察本部地域課 (076)441-2211 内 3863 ◎ http://police.pref.toyama.jp/ 岐阜県警察本部地域課 (058)271-2424 内 3585 ☆ http://www.pref.gifu.lg.jp/police
大峰山系 大台山系	奈良地方気象台 (0742)22-2555	奈良県警察本部地域課 (0742)23-0110 内 3574 ◎ http://www.police.pref.nara.jp/
大山	鳥取地方気象台 (0857)29-1312	鳥取県警察本部地域課 (0857)23-0110 内 3578 ☆ http://www.pref.tottori.lg.jp/policedaisen/
石鎚山系	松山地方気象台 (089)941-0012 高知地方気象台 (088)822-8881	愛媛県警察本部地域課 (089)934-0110 内 3575 ◎ http://www.police.pref.ehime.jp/ 高知県警察本部地域課 (088)826-0110 内 3565 ☆ http://www.police.pref.kochi.lg.jp/
脊振山系 多良山系	佐賀地方気象台 (0952)32-7025	佐賀県警察本部地域課 (0952)24-1111 内 3583 ◎ http://www.police.pref.saga.jp/seian/anzen/matidukuri/_3538.html
屋久島	鹿児島地方気象台 (099)250-9913	鹿児島県屋久島警察署 (0997)46-2110 ☆ http://www.pref.kagoshima.jp/ja10/police/shinsei/sonota/oshirase_34.html



登山計画書(登山届)

年 月 日

御中

目的の山域・山名					
入山日				最終下山日	(予備日含む)
役割	氏名 生年月日	性別	年齢	住所 電話(携帯電話)	緊急連絡先・氏名 住所または電話(携帯電話)

日程	行動予定
(1) /	
(2) /	
(3) /	
(4) /	
(5) /	
荒天・非常時 対策 エスケイプルート	

◎所属している山岳会・サークルについて記入してください。

団体名			
所属	山岳連盟(協会)	緊急連絡先	
代表者氏名		氏名	
代表者住所		住所	
代表者電話		電話	
代表者携帯電話		救助体制	ある (名) なし
搜索費用にあてる保険加入の有無	あり なし	保険会社名	()

(概念図)

テント(型・人用・張)	
ツェルト(人用・張)	
ロープ(m・本)	
通信機器(台・MHZ)	
食料(日分)	(予備食含む)
非常食(日分)	
燃料(日分)	

(その他連絡事項)

- 提出先 家庭、クラブ(山岳会)、職場、学校など
山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど
登山地域の都道府県警察本部地域課(北海道を除き県庁所在地にあります)
または山域を管轄する警察署、交番、駐在所
- 注意 登山計画書を提出したところには、必ず下山の報告をすること
条例に基づく登山届出(提出義務があります)は所定の届出先に提出すること

※ 登山計画書の記入例については、(公社)日本山岳協会のホームページまで

<http://www.jma-sangaku.or.jp/>